

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年6月30日
【事業年度】	第182期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）
【会社名】	日本坩堝株式会社
【英訳名】	Nippon Crucible Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 有司
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年6月24日に提出しました第182期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これらを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(連結貸借対照表関係)

2 担保資産及び担保付債務

(セグメント情報等)

セグメント情報

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(貸借対照表関係)

1 担保に供している資産及び担保に係る債務

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結貸借対照表関係)

2 担保資産及び担保付債務

(訂正前)

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
建物及び構築物	1,261,573千円	1,208,091千円
土地	39,835	39,835
計	1,301,408	1,247,926

(省略)

(訂正後)

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
建物及び構築物	1,261,573千円	667,231千円
土地	39,835	36,257
計	1,301,408	703,489

(省略)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	4,727,671	2,519,367	410,752	7,657,790	-	7,657,790	-	7,657,790
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	70,784	-	-	70,784	-	70,784	70,784	-
計	4,798,455	2,519,367	410,752	7,728,574	-	7,728,574	70,784	7,657,790
セグメント利益	70,461	268,704	233,860	573,025	-	573,025	513,655	59,370
セグメント資産	5,334,774	407,841	1,569,100	7,311,715	-	7,311,715	3,392,377	10,704,092
その他の項目								
減価償却費	242,590	5,348	91,584	339,522	-	339,522	27,677	367,200
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	208,531	4,325	14,380	227,236	-	227,236	921	228,157

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 513,655千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,392,377千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。
- (3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,023,430	2,586,121	392,252	8,001,803	673,229	8,675,032	-	8,675,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	94,000	-	-	94,000	-	94,000	94,000	-
計	5,117,431	2,586,121	392,252	8,095,804	673,229	8,769,033	94,000	8,675,032
セグメント利益	241,281	285,289	240,389	766,960	33,477	800,438	544,891	255,547
セグメント資産	4,710,158	535,487	1,300,931	6,546,576	726,753	7,273,330	3,803,881	11,077,212
その他の項目								
減価償却費	239,724	3,780	87,848	331,353	4,432	335,786	27,922	363,709
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	21,334	43,146	-	43,146
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	203,953	705	4,525	209,183	-	209,183	255	209,438

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 544,891千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門のPersonnel費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,803,881千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,727,671	2,519,367	410,752	7,657,790	-	7,657,790	-	7,657,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,784	-	-	70,784	-	70,784	70,784	-
計	4,798,455	2,519,367	410,752	7,728,574	-	7,728,574	70,784	7,657,790
セグメント利益	70,461	268,704	233,860	573,025	-	573,025	513,655	59,370
セグメント資産	4,842,240	1,592,306	1,602,295	8,036,841	-	8,036,841	2,667,251	10,704,092
その他の項目								
減価償却費	242,590	5,348	91,584	339,522	-	339,522	27,677	367,200
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	208,531	4,325	14,380	227,236	-	227,236	921	228,157

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 513,655千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,667,251千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,023,430	2,586,121	392,252	8,001,803	673,229	8,675,032	-	8,675,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	94,000	-	-	94,000	-	94,000	94,000	-
計	5,117,431	2,586,121	392,252	8,095,804	673,229	8,769,033	94,000	8,675,032
セグメント利益	241,281	285,289	240,389	766,960	33,477	800,438	544,891	255,547
セグメント資産	4,985,893	1,640,527	1,317,622	7,944,042	758,508	8,702,550	2,374,662	11,077,212
その他の項目								
減価償却費	239,724	3,780	87,848	331,353	4,432	335,786	27,922	363,709
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	21,334	43,146	-	43,146
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	203,953	705	4,525	209,183	-	209,183	255	209,438

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 544,891千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,374,662千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(貸借対照表関係)

1 担保に供している資産及び担保に係る債務

(訂正前)

担保に供している資産

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	1,171,967千円	<u>1,105,356千円</u>
構築物	9,281	<u>8,546</u>
土地	26,513	<u>26,512</u>
計	1,207,761	<u>1,140,414</u>

(省略)

(訂正後)

担保に供している資産

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	1,171,967千円	<u>578,876千円</u>
構築物	9,281	<u>7,276</u>
土地	26,513	<u>26,430</u>
計	1,207,761	<u>612,583</u>

(省略)